

## 平成16年度弁理士試験論文式筆記試験問題

### [ 著作権法 ]

Xは芸術に関する論稿を多数執筆している評論家である。XはYの絵画の論評を行うにあたって、Yの代表作数枚を、Yに無許諾で写真複製し、自己の論文中で紹介した。その際、Xは、絵画の色を白黒にし、サイズを大幅に縮小した。Xの評論は、学術雑誌に掲載された。以上の事実関係を前提として、Xの行為がYの著作権を侵害するかどうかについて、関連する最高裁判決に言及しつつ、論ぜよ。なお、Yの絵画は、著作権で保護されていることを前提とする。

【50点】

【訂正箇所】

試験問題の一部に誤りがありましたので、以下のとおり訂正いたします。また、上記設問の取り扱いについては、今後検討をして、後日お知らせいたします。

・問題文 3行目

[誤] 「その際、Yは、絵画の色を…」

[正] 「その際、Xは、絵画の色を…」

論点 [ 著作権法 ]

・著作権侵害の有無と引用の成否に関する理解を問う。

( 1 ) 複製権 ( 2 1 条 ) 侵害の有無

( 2 ) 引用 ( 3 2 条 ) の成否

( 3 ) 最判昭和 5 5 年 3 月 2 8 日民集 3 4 卷 3 号 2 4 4 頁の判断枠組み ( 明瞭区別性と 付従性 )